

CASBEE[®]新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.2)

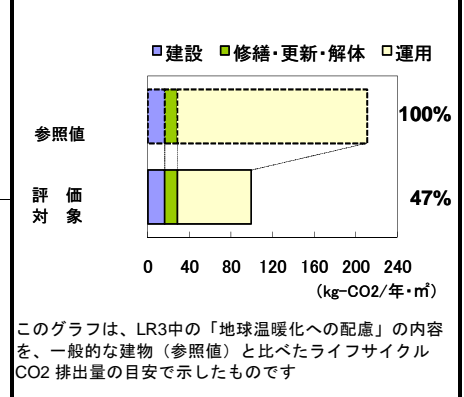
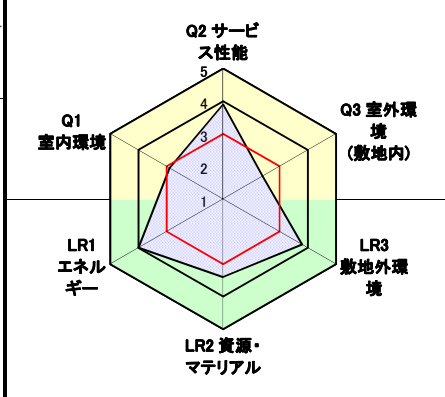
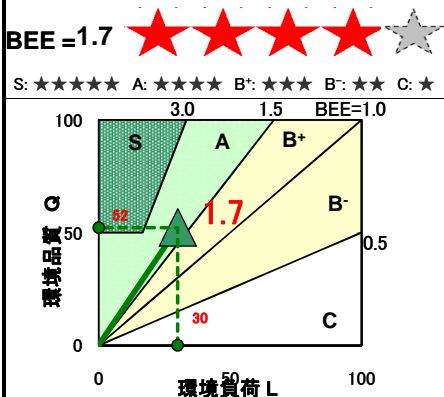
1. 建物概要					
建物名称	原信近江店				
建設地	中央区 上近江2丁目97番地1 外20筆				
用途地域	第一種住居地域、防火指定なし				
建物用途	物販店				
竣工年	2011年7月 予定				
敷地面積	9,665.96 m ²				
建築面積	3,244.57 m ²				
延床面積	2,998.26 m ²				
階数	地上1F				
構造	S造				
評価の段階	実施設計段階評価				
評価の実施日	2011年4月1日				
2. CASBEE新潟の評価結果					
		A	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{52}{30} = 1.7$		
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★					
3. 新潟市の重点項目の評価					
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	平均スコア 4.2		バリアフリー	Q2.1.1.3	4.0
			維持管理	Q2.1.3	5.0
			更新性	Q2.3.3	3.6
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	平均スコア 3.1		耐震・免震	Q2.2.1	3.0
			信頼性	Q2.2.4	3.2
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	平均スコア 3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	平均スコア 3.5		建物の熱負荷抑制	LR1.1	4.0
			自然エネルギー利用	LR1.2	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	平均スコア 4.3		節水	LR2.1.1	4.0
			リサイクル材の使用	LR2.2.4	4.0
			再利用可能性向上	LR2.2.6	5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	平均スコア 2.0		生物環境の保全・創出	Q3.1	1.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	3.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	平均スコア 3.0		まちなみ・景観への配慮	Q3.2	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	3.0
4. 新潟市の重点項目の配慮事項					
長寿命化の取組み バリアフリー法誘導化基準を満足する施設として、たくさんの方からご利用頂けるよう、また親しみのある施設づくりに配慮しております。					
資源循環の取組み 節水により水資源の保護、リサイクル材の利用等で環境へ配慮しております。					

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

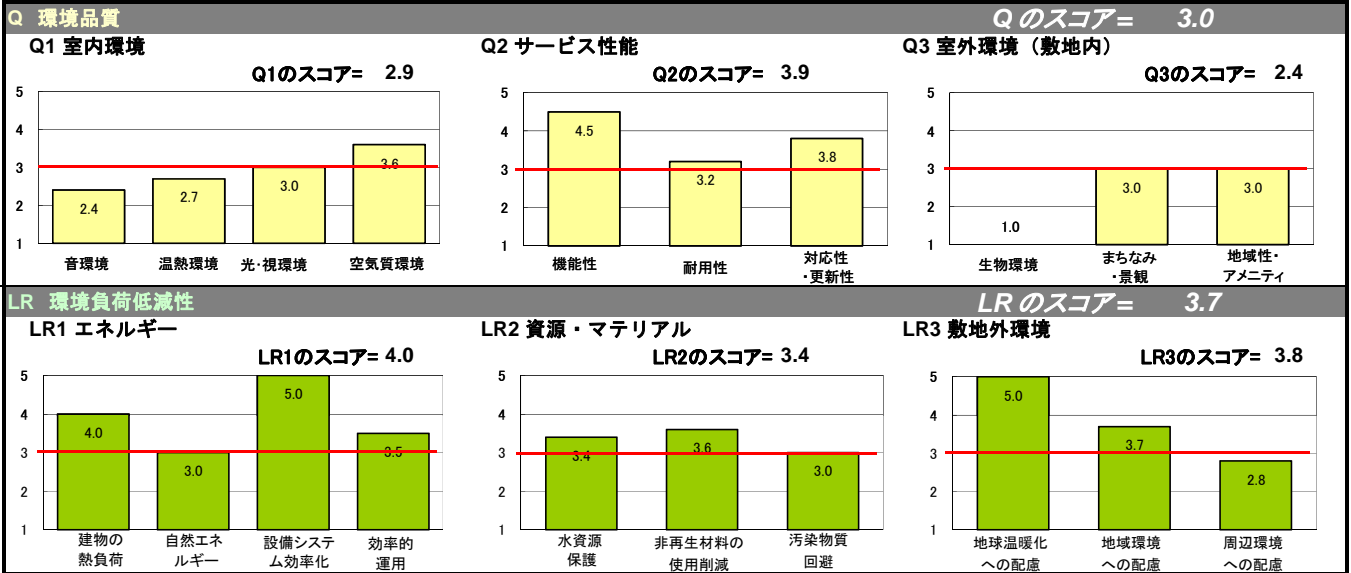
CASBEE®新潟 | 評価結果内訳 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築 (簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.2)

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート) | **2-2 大項目の評価 (レーダーチャート)** | **2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)**



2-4 中項目の評価 (バーチャート)



2-5 設計上の配慮事項

総合 近隣住民の皆様、お客様に喜ばれる店舗づくりを目標とした。バリアフリー誘導化基準に対応し、安全にも配慮した親しみのある施設となるよう計画した。	その他 室外機からの排熱を再利用し、エネルギー使用量の削減を行っています。
Q1 室内環境 シックハウスに配慮する計画とした。	Q2 サービス性能 防汚性、メンテナンス性に優れた材料の選定。業務に必要な機器の修繕ルートの確保。
LR1 エネルギー 高効率照明器具、高効率空調機の採用。照度計画、空調計画によりエネルギーを削減した。	LR2 資源・マテリアル リサイクル資源の利用。構造躯体と仕上材は容易に分離できる仕様。
	Q3 室外環境 (敷地内) 雨降り、待ち合わせに利用できるオープンモールの設置。敷地内には可能なかぎり緑地を設ける。
	LR3 敷地外環境 営業時間により駐車場の利用を控え、近隣への騒音、光害の低減に務めます。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される